

議会だより

ながのはらまち

2016

JULY

7

No.108

5月臨時会や6月定例会の内容をお伝えします。

6月19日に第29回北軽井沢マラソンが開催され、
多くのランナーが初夏の北軽井沢を駆け抜けました。

目次

6月定例会・5月臨時会・・・2-8頁

請願・陳情の結果・・・8-9頁

ここが知りたい！一般質問・・・10-14頁

議会活動報告・・・15頁

平成28年度補正予算などを

原案のとおり全員賛成で可決しました。

行政報告

●平成27年度長野原町一般会計
予算繰越明許費繰越計算書の報告

事業の年度内完了が困難であることから、財産管理事業ほか11事業、計4億5391万4千円を平成28年度に繰り越すこととしました。

条例制定

●長野原町職員の給与に関する
条例の一部を改正する条例

地方公務員法の一部改正により、給料表の他に、等級別基準職務表を規定することが義務付けられたため、条例を改正しました。

●長野原町課設置条例の一部を
改正する条例

4月1日付けで行った組織改編等に伴い、関係課の事務分掌を変更する必要が生じたため、条例を改正しました。

契約の締結

●林道貝瀬線開設工事

【契約の相手方】
群馬県知事 大澤 正明

【契約金額】
1億815万8千円

●町道長野原線整備事業（その
2）工事委託契約の変更

【契約の相手方】

群馬県知事 大澤 正明

【変更前契約金額】
5億9719万5千円

【変更後契約金額】
5億5771万5100円

【変更理由】
事業費の確定によるもの

●町道長野原向原線整備事業
（その2）工事委託契約の変更

【契約の相手方】
群馬県知事 大澤 正明

【変更前契約金額】
6億9862万5千円

【変更後契約金額】
5億6202万9800円

【変更理由】
事業費の確定によるもの

●町道長野原線整備事業（その4）

【契約の相手方】
群馬県知事 大澤 正明

【契約金額】
2億1735万円

●町道長野原向原線整備事業
（その2）

【契約の相手方】
群馬県知事 大澤 正明

【契約金額】
1億948万8500円

●町道林長野原線改築工事

【契約の相手方】
関東地方整備局長 石川 雄一

【契約金額】
1億5720万円

●町道川原湯温泉幹線街路改築工事

【契約の相手方】
関東地方整備局長 石川 雄一

【契約金額】
5億6880万円

●町道林線改築工事

う補正です。

●長野原町浅間園事業特別会計

予算の総額に26万2千円を追加し、歳入歳出それぞれ4540万6千円としました。
主な内容は、4月の人事異動、給与改定による人件費等の補正です。

●長野原町浅間上水道事業会計

予算の総額に127万7千円を追加し、歳入歳出それぞれ4888万9千円としました。
主な内容は4月の人事異動、給与改定に伴う人件費の補正です。

●長野原町北軽井沢簡易水道事業会計

予算の総額に182万1千円を追加し、歳入を8175万6千円、歳出は8175万5千円としました。
主な内容は4月の人事異動、給与改定に伴う人件費の補正です。

補正予算



▲北軽井沢地区集会所外観イメージ（色は未定）

【契約金額】
1億44万円

●一般会計

予算の総額に2億9411万4千円を追加し、歳入歳出それぞれ総額81億4114万6千円としました。

主な内容は4月の人事異動、給与改定による人件費、道の駅整備事業による工事請負費および土地購入費、応桑幼稚園改修事業による工事費の補正です。

●長野原町へき地診療所特別会計

予算の総額に617万8千円

を追加し、歳入歳出それぞれ5億2433万2千円としました。
主な内容は償還金の不足に伴

●長野原町介護保険特別会計

予算の総額に233万5千円

を追加し、歳入歳出それぞれ5億2433万2千円としました。
主な内容は償還金の不足に伴

【契約の相手方】
吉澤・黒田特定建設工事共同
企業体

●北軽井沢地区集会所新築工事

【契約金額】
3億1911万1千円

【契約の相手方】
関東地方整備局長 石川 雄一

●ハッ場ダム観光用エレベータ
設置工事

【契約金額】
2億1924万円

【契約の相手方】
東光建設株式会社

●東部簡易水道配水池築造工事
（川原畑配水池）

【契約金額】
1億5700万円

【契約の相手方】
関東地方整備局長 石川 雄一

こんな質問がありました

契約の締結

問 牧山議員 町道長野原線整備事業（その4）については4つの工事が組まれていると思うが、それぞれの経費割合の説明を。

答 建設課長 県道292号線の交差点付近については約1500万円。工事用の道路の撤去が約3000万円。舗装工事と改良工事併せて1億7235万円。

問 牧山議員 ハツ場ダム用エレベータ設置工事について、3力年で仕上げる計画であるが、3力年の経費割合の説明を。

答 教育課長 平成28年度で予定しているのが詳細設計、上下流の通路、シャフトの工事費等で6719万2千円。平成29年度が1億513万9千円。平成30年度については1億4678万円を予定。

答 企画政策課長 浅間園の運営方法の決定まで長引き、一般の臨時職員の募集もかけたが募集定員に足らなかった。そこで地域おこし協力隊の方を募集し、業務に当たってもらうことになり、6月の着任という形になったため今回の補正となった。人数については2名、6月1日より浅間園のビジターセンターと記念館の業務についている。地域おこし協力隊の制度として職員一人あたり人件費200万円、物件費200万円が特別交付税措置となる。

問 牧山議員 社会福祉費に關する人件費が人事異動に伴い減額とのことだが、福祉の部分、特に社会福祉で職員が減ることはサービスが悪くなるような感じを受けるが説明を。

答 町民生活課長 1名の減となつてはいる。保育所や子ども館などの業務が教育課の子ども子育て支援室へ移管となったため。この1名が子ども子育て支援室へ異動となった。また、人事異動に伴い障がい担当

平成28年度6月補正予算

(万円未満切捨)

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	2億9,411万円 追加	81億4,114万円
特別会計	へき地診療所	617万円 減額
	農業集落排水事業	66万円 追加
	公共下水道事業	15万円 追加
	介護保険	233万円 追加
	浅間園事業	26万円 追加
事業会計	浅間上水道	収益的収入及び支出に127万円を追加
	北軽井沢簡易水道	収益的収入及び支出に182万円を追加

こんな質問がありました

一般会計

問 黒岩議員 浅間ジオパーク関連事業でイベント委託料108万円が追加計上されている。イベントの内容は。

答 企画政策課長 ヘリコプターによる浅間山火口周辺の遊覧飛行を計画している。参加者から負担金をいただく予定。

問 黒岩議員 個人からの負担金はいくら徴収する予定なのか。また、実施時期や申込方法は。申込が殺到したらどうするのか。

答 企画政策課長 一人につき負担金は1万円。一部を町費で負担しようと考えている。実施時期は9月から10月を予定しており、申込方法について

では協議中。今のところ料金を添えての申込、受付は先着順を考えている。

問 黒岩議員 へき地診療所への特別会計繰り出し金が減額となっているが、その理由は。

答 町民生活課長 人事異動に伴うもの。

問 黒岩議員 道の駅整備事業の工事内容は。

答 産業課長 大勢のお客様に対応するため、駐車場の拡充を行う。70台から80台くらいを入れることができるような形で計画している。また、付属で街路灯を3基設置する計画。

問 牧山議員 地域おこし協力隊事業に係わる人件費で追加補正がある。これは当初予算に間に合わなかったのか。また、何名分の給料なのか、その職責についても説明を。

数の数え方が変わったので一概に比較できないが、我々の予想に近い集客があった。今後も、個人用レストランも開店し、キャンプ場の営業も夏休み前から始めるといふ予定で進んでいる。新たな浅間園のホームページも公開になるので良い発信ができるのではと考えている。

問 黒岩議員 7月1日にリニューアルオープンという形になると思うが、セレモニーは予定しているか。

答 企画政策課長 リニューアルオープンの日にちについては調整中。7月16日に本格オープンを見据えて準備している。

浅間上水道

問 牧山議員 収入で水道料金の年額追加となっているが、水道料金値上げになったのか、それとも加入が増えたのか。

介護保険

問 牧山議員 前年度繰越金は本来、最後まで予想の付かない金額であるが、それと償還金の額がピツタリ一致していることについて説明を。

答 町民生活課長 今年度まだ決算を迎えていないが、今回の補正はシステム改修費における補助金の部分について交付額が決定したため、歳入歳出同額の追加補正としている。

浅間園事業

問 豊田議員 新たな運営方法で浅間園が始まったが、現段階での見通しを。

答 企画政策課長 4月から園長も新しく置いて動いている。6月から地域おこし協力隊員2名が着任し、浅間園の業務にあたっている。集客については人

へき地診療所

問 牧山議員 定年退職後に再任用された方における給与の関係で減額がなされているが、再任用になるとどのくらい支給総額が変わるのか。

答 総務課長 当初の給料に比べ、概ね5分の2から3分の1の間となる。

が少し若年化し、給料の差額で減額となっている。

問 入澤勝彦議員 農地費の工事請負費について確認したい。応桑用水のU字溝の入れ替えやフェンスの修理ということだが、応桑セーブオン付近にあるマスのフェンス修理も含まれているのか。また、工事時期は。

答 産業課長 含まれている。工事時期については農繁期を避け、秋口を予定している。いずれにしても、応桑水利組合の方々と相談した上で決めたい。

答 牧山議員 再任用された方における給与の関係で減額がなされているが、再任用になるとどのくらい支給総額が変わるのか。

答 上下水道課長 歳出補正額と給水収益を同額にしたもの。

北軽井沢簡易水道

問 篠原議員 人事異動に伴い歳出を追加し、それに合わせ収入の予定額に同額を追加しているとのことだが、経費は自分の意思で抑えることができるが、収入は違う。支出が増えると収入が増えるのは非常におかしい。最初の計画がおかしいのでは。

答 上下水道課長 純然たる民間企業における会計と差異があり、支出ありきで収入を見込むという矛盾があるが、ご理解をお願いしたい。

問 牧山議員 実際の簿記とは違う会計が自治体にはあるのではと感じるが説明を。

答 副町長 水道には会計がふた通りあり、特別会計で行う事業、公営企業会計を適

用する事業もある。浅間上水道、北軽井沢簡易水道については公営企業会計を適用している。通常の複式簿記は適用しているが、補助金の扱いなど歳入、資産と負債の考え方が若干違う。当初の歳入については補正率を考慮して組み立てている。この範囲において予想される支出の補正を行っている。

問 富澤議員 収支のバランスからすると支出がだんだん固まってきたので、売り上げを伸ばせば良いという話であるが、売り上げが伸びるのであれば、最初から伸ばせば良い。このやり方は本末転倒で、つじつまが合わないのではないか。

答 上下水道課長 この会計の主な収入は水道料の収入である。目標をもった数値を歳入として計上すれば良いが、人口が一番の要因となる。しかし、人口や給水人口も横ばい、または若干右肩下がりのような状態である。そう考えると経常的にかかる経費を見直すことを検討したい。

こんな質問がありました

問 牧山議員 今年度より浅間園事業会計から特別会計へ移管するが、会計処理上どのように変わるのか説明を。

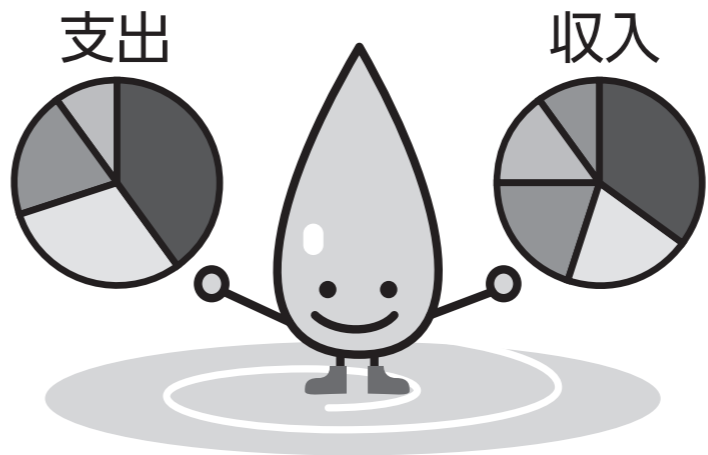
答 産業課長 事業会計では物等の金額などについての金額は貸借対照表等の中で計上されているが、それが特別会計では計上されない。なお、今回の預金現金等の金額については、引き続き浅間園事業特別会計へ移行する。

問 牧山議員 両方の水道事業会計について、以前から漏水があるのは知っているが、状況に改善は見られたか。

答 上下水道課長 浅間上水道では、無効水量が11万3853トン、全体の63.9%を占める。北軽井沢簡易水道では無効水量が6万2567トンで全体の7.5%を占めてい

問 牧山議員 以前より浅間上水道、北軽井沢簡易水道事業会計から土地開発公社等に貸し付けがあり、それが戻っているの内部留保があることは分かっているが、使い果たした時はどうするのか。

答 上下水道課長 大事故ま無い限り、問題無いと考える。まずは経費をいかに抑えるかを念頭に置き、会計を管理していきたい。



問 浅沼議員 浅間上水道事業会計および北軽井沢簡易水道事業の欠損理由について説明を。また、将来的な経営についてどのように考えているか。

答 上下水道課長 浅間上水道事業会計の欠損については昨年の浅間山噴火警戒レベルの引き上げに伴う、観光客や別荘客が減少したことが原因だと考える。また、第一観光の工区に送るポンプの工事が終わると大幅な支出予定がなくなるため、余裕がでてくるのではないかと思う。

北軽井沢簡易水道事業会計については、現在起債の償還を行っている。平成33年3月に償還が終わるため、段階的に好転していくと考えている。

問 黒岩議員 浅間上水道および北軽井沢簡易水道事業について、老朽管や石綿管がまだ残っていると思う。両事業ともその更新に費用がかかっていると思うが、どの程度残っているのか。

答 上下水道課長 浅間上水道については、昔の石綿管が約5割、北軽井沢簡易水道については2割残っているのではないかと。修理等を大規模に行う際には計画性をもって行っていきたい。

平成27年度事業会計の決算を認定しました

会計名		収入決算額	支出決算額	利益・損失
浅間園事業会計	収益的	9258万1643円	7912万7855円	1345万3788円
	資本的	0円	3248万4181円	△3248万4181円
浅間上水道事業会計	収益的	4533万953円	4585万9148円	△52万8195円
	資本的	0円	3996万4290円	△3996万4290円
北軽井沢簡易水道事業会計	収益的	7337万439円	7483万677円	△146万238円
	資本的	818万4747円	1636万9494円	△818万4747円



▲浅間園

専決処分

●平成27年度長野原町一般会計
補正予算(第9号)

地方創生加速化交付金の申請
が採択に至らなかったため補正
を行いました。

●長野原町税条例等の一部を改
正する条例制定

地方税法等の一部を改正する
法律の施行に合わせ、条例の一
部を改正しました。

●長野原町国民健康保険税条例
の一部を改正する条例制定

地方税等の一部を改正する法
律の施行に合わせ、条例の一部
を改正しました。

補正予算

●一般会計

予算の総額に9億7558万
円を追加し、歳入歳出それぞれ
総額を7億4703万2千円と
しました。

主な内容はダム関連補助事業
による事業委託料の補正です。

契約の締結

●町道長野原線(仮称)嶋木橋
上部工工事

【契約の相手方】

東日本旅客鉄道株式会社

執行役員高崎支社長 黒岩 雅夫

【契約金額】
2億4783万円

2億4783万円

みなさんの要望はこうなりました

— 請願・陳情の結果 —

件名	提出者	結果
北軽井沢地内(ハイロン地区内 3箇所)消火ホース(9本)設 置の陳情	北軽井沢区長 浅井 幹一	採択 (75%補助)
防犯灯LED器具交換の陳情	北軽井沢区長 浅井 幹一	採択 (30%補助)
大屋原1号線と10-2号線と の交差点付近へ消火栓設置(1 台)の陳情	北軽井沢区長 浅井 幹一	採択 (75%補助)
10-63号線から群1・群2 方向のU字溝補修の陳情	北軽井沢区長 浅井 幹一	採択

県道倉淵線沿い高嶋様宅付近か ら栗平方向にかけての歩道及び 車道の樹木枝切の陳情	北軽井沢区長 浅井 幹一	採択 (関係機関へ要望)
町道10-11号線の道路補修 の陳情	北軽井沢区長 浅井 幹一	採択
御大橋新設(改修)の陳情	北軽井沢区長 浅井 幹一	趣旨採択 (改修・補修を実施)
国道146号線、区画線(横断 歩道)補修の陳情	北軽井沢区長 浅井 幹一	採択 (関係機関へ要望)
アテロ地区、道路待避場設置と 溝蓋設置の陳情	応桑区長 竹渕 剛	道路待避場については趣旨採択 (調査・検討)・溝蓋設置につ いては採択(年次計画で実施)
田通吾妻線、橋建設についての 陳情	応桑区長 竹渕 剛	不採択 (橋梁事業費が高額であり、財政 負担能力が逼迫することや過去の 経緯も踏まえ不採択とした。)
側溝のグレーチング設置につい ての陳情	応桑区長 竹渕 剛	採択
道路補修工事についての陳情	応桑区長 竹渕 剛	採択
用水路補修工事についての陳情	応桑区長 竹渕 剛	採択 (宅地部分のみ実施)
町道側溝改修工事についての陳 情	応桑区長 竹渕 剛	採択 (歪みを生じている側溝は改修、 畑の出入口の側溝蓋については年 次計画で実施)
街路灯の器具取り換えについ ての陳情	応桑区長 竹渕 剛	採択 (30%補助)
小倉桐屋地区消火栓設備設置に ついての陳情	横壁区長 萩原 廣太	採択 (75%補助)
与喜屋区内(第4分団)消防設 備消火栓新設の陳情	与喜屋区長 篠原 三代治	採択 (75%補助)
農業用ハウス耐雪補強工事への 県補助制度創設を求める意見書 の提出をお願いする陳情	吾妻郡耐雪ハウス研究会 会長 山崎 公一 あがつま農業協同組合 代表理事理事長 唐澤 透	採択 (意見書提出)

一般質問



浅沼 克行 議員

ここが知りたい！

一般質問

一般質問とは、定例会において、各議員が住民の代表として町の考え方や疑問をたずねることです。

6月定例会では3名が登壇し、町政を問いました。なお、紙面の都合により、内容を要約して掲載しています。

質問者	質問内容	ページ
浅沼克行 議員	1. ゴミ排出量の削減について	11
牧山 明 議員	1. 防災計画・避難計画等について	12 13
黒岩 巧 議員	1. フィルムコミッションや企業誘致について 2. 進学支援について	13 14

ゴミ排出量の削減に向けた今後の取り組みは

答

3Rの推進などで排出量を削減したい

問

群馬県1人1日当たりのゴミ排出量は全国でワースト4位と良い状況ではない。長野原町においては県内35市町村中30位と悪い水準にある。これを改善し、少なくとも県内平均以上にすることを、今まで以上にゴミ削減に向けた取り組みをするべきでは

答

本町のごみ排出量は平成25年度、26年度とも県内30位という状況。この調査では総人口をもとに算出しており、別荘利用者や観光客による排出人口は考慮されていない。下位の市町村をみると、それらの事情が鮮明に現れている。

問

このような状況の中、平成17年にはゴミ有料化の導入により、排出量は激減し年々減少傾向にある。また、平成26年5月から新聞、雑誌、牛乳パック等のほかにペットボトルのリサイクルを実施している。今後は再資源化とゴミ減量化への意識を高め、リデュース、リユース、リサイクルの3Rの推進を図り、ゴミ排出量削減に努めていきたい。

答弁のとおり、年々ゴミの量も減っていることは少なからず町が努力している結果だと思う。しかし、現状に満足するのではなく、30位という現状を改善する努力は必要である。今まで以上に分別収集の推進、粗大ゴミの資源化やリサイクルを行う必要がある。また、生ゴミのコンポスト処理などに対して補助がある自治体もあるが、それらを全部やれということではない。一つ一つ積み重ねて年々ゴミの量を少なく

答

先ほど3Rのことを申し上げたが、最近ではゴミと資源を分別するリファイン、断るという意味のレヒューズを加えた4R、5Rになっている。まずは町民の意識を高めていくことが必要。そのために、レヒューズという点ではマイバッグや箸を持参し、買い物では袋や割り箸を受け取らないなどということが必要ではないか。それを町自体が宣言し、発信することによって町民の意識を高めていくことが、もしかしたら重要なのではないかと考えている。担当課とも相談しながら、生活スタイルを伝えていくホームページも作成しているのので、そこで上手く取り入れられればと思っている。

問

意識の改革について、私も非常に大事であると思っている。啓発活動は文書や放送など色々な面からできると思う。できることをやりながらゴミを少なくしていく必要がある。また、みなかみ町のように観光地でもゴミの排出量が少なくなっている自治体もあるの、今後もゴミ排出量の削減に取り組んでほしい。

答

町民に理解を促すには、町の職員が率先してやるべきだと思っている。紙の裏を利用してメモにするなど、細かいことから実行していきたい。私もそういうところから宣言していきたい。



▲西吾妻環境衛生センターに集められた缶類

一般質問



牧山明 議員

牧山明議員 一般質問

防災計画や避難計画、 備蓄等の状況は

答 各地区の自主避難計画作成を検討、
備蓄も追加する。

問 東日本大震災から5
年が経ち、復興はま
だ道半ば。4月に起きた熊
本地震も大きな被害が出て
復興復旧が待たれている。

長野原町の防災計画、避
難計画は具体的にどうなっ
ているか。また、避難所等
の設置計画、備蓄食糧、飲
料水や毛布等の準備状況は

どうなっているか。

答 近年では全国各地で
地震や噴火、局地的
な豪雨が多発し甚大な被害
をもたらしている。これら
自然災害の影響は険しい地
形や浅間山を抱える本町に
とっては他人事ではない。

このことから、昨年3月に
は10年ぶりに町の地域防災
計画を大幅改定したところ。
防災計画の具体的な内容
としては、町および関係機
関が住民の生命、身体、財
産を守るために、第1編で
は総則を、第2編では災害
の発生に備えた被害を最小
限に抑えるための予防策を、
第3編では災害ごとに発生
前の情報伝達、避難誘導等
の対策、また、発生後の初
動調査、被害の拡大防止、
救助活動等の対策を定めて
いる。第4編では災害復旧
復興を定め、最後に備蓄物
資や避難場所等防災に関す
る主要編をつけている。

また、更なる防災意識の
向上と災害の未然防止のた
め、町民向けに家庭用防災
マニュアルを作成し、1月
に全戸配布したところ。



▲家庭用防災マニュアル

次に、避難計画の具体的
な内容については、防災計
画第3編により、避難準備
情報、避難勧告、避難指示
の発令基準を定めており、
消防機関や警察、区役員等
と連携を図り、安全な避難
経路を選定し、避難者を避
難場所まで誘導するとして
いる。

問 6月10日に政府の地
震調査緊急推進本部
が震度6弱以上の地震の起
きる確率を発表した。これ
によると群馬県の浅間山周
辺も確率が高い。確率が
7%くらいだった熊本が被
災しており、長野原周辺で
もいつ6弱ぐらいの地震が
起きてもおかしくない。そ
ういう中で町は防災計画を
策定したが、我々を含め内
容が十分浸透していない。
例えば、どこに避難困難者
がいて、何かあった際にど
う動くかなどを取りまと
める必要がある。また、
備蓄物資も町内3ヶ所のみ
配備が良いのかなどを含め、
具体的な計画を皆で考える
必要があるのではないかと
思う。

答 防災訓練や町民の意
識等を高めることを
含め、議員皆さんも一緒に
なり意見を出し合って、立
ち上げていきたいと考えて
いる。
備蓄に関しても、確かに

数が少ないと感じており、
今年度も追加していきたい
と思う。また、西中学校と
北軽井沢小学校にもしっか
りとした備蓄倉庫があるに
も関わらず有効利用され
ていないため、その部分
も含め検討していきたい。

問 計画を作成する上で
各地区にお願いをし
て、先生を呼んで防災計画
を作成していることは知っ
ている。しかし、現在町内
10区のうち作成できたのは
羽根尾区だけ。更にスピー
ドアップして取り組まなく
てはならない。

例えば、群馬大学の教授
のような方を顧問に願い
ながら進めていきたい。

と議会、住民の人と一緒に
勉強しながら、早く体制を
整えるべきではないか。

答 指摘のとおり、年に
1ヶ所ですべての
かと思っているところだ
が、コンサルを入れ、去年
羽根尾で行ったのを見て、
住民皆さんもこれは大変だ
と感じてしまっている部分
もあるのかもしれない。ま
た、何地区かに声をかけた
ところ、了解をもらってい
ない部分もある。

しかし、羽根尾が計画を
作成した後に台風が来たが、
住民自らが動いたという経
緯もあり、自主的に避難訓
練をやりたいという申し出
もあったことは非常に良
かったと思っている。
議員は各地区の代表だと
思っている。お力添えを賜
りながら進めていきたい。

一般質問



黒岩巧 議員

黒岩巧議員 一般質問①

フィルムコミッション、 企業誘致の具体策は

答 フィルムコミッションについて
は素
材の充実、発信を強化。企業誘致は
IT関係等の誘致を進めたい。

問 萩原町長が就任して
2年が経過した。こ
の間数々の施策を打ち出し
てきたが、フィルムコミッ
ションと企業誘致について
は具体策が見えてこない
と感じる。フィルムコミッ
ションはホームページが開
設され、これから本格的に

動き出すものと思うが具体
策を聞きたい。また、これ
に関連して長野原町として
PRビデオを制作する予定
はあるか。
企業誘致に関しては、ア
クセス道路等の問題から工
場誘致は現実的ではなく、
光ケーブルが整備された環

境をいかして、IT企業や
サテライトオフィス等を空
き家対策と絡めて誘致する
のが実現性が高いのではな
いか。

答 昨年の8月にフィル
ムコミッションを設
立し、群馬県フィルムコ
ミッションおよびロケツー
リズム連絡会にも加盟し、
今年4月にはホームページ
も公開した。設立から現在
までの実績は撮影場所、候
補地の問い合わせが18件。

この中で撮影に至ったケー
スは浅間牧場での光学機器
メーカーのカタログ用写真
撮影1件。制作者側の要望
に合う場所がなかったり、
問い合わせから回答までの
期間が短いなどの理由で撮
影に至らないケースもあっ
た。今後は多様な撮影用素
材を準備し、製作者側の要
望に迅速に対応できるように
努め、ホームページによる
素材の発信を充実したい。
PR動画等の撮影につい



活動報告①

「浅間山北麓ジオパーク構想」の拠点施設 浅間園を視察しました

5月20日（金）、町の施策として推し進める浅間山北麓ジオパーク構想の拠点施設となるビジターセンター「浅間園」を全議員で視察しました。

施設内の状況確認やジオガイドの案内による浅間山に関わる説明を受けた後、今後のジオパーク活動におけるヒアリングを行いました。

[写真]

- 1. ヒアリングの様子
- 2. 施設内の展示物
- 3. ジオガイドの説明を受ける様子



活動報告②

総務文教常任委員会 管内所管事務調査を行いました

7月1日（金）、長野原町議会総務文教常任委員会による管内所管事務調査を行いました。今回は長野原町へき地診療所、からまつ荘、社会福祉協議会、西吾妻環境衛生センター、西吾妻福祉病院（組合）を視察し、要望の確認も行いました。

[写真]

- 1. 社会福祉協議会にて
- 2. 西吾妻環境衛生センターにて
- 3. 西吾妻福祉病院にて



▲長野原町フィルムコミッションポータルサイト

では平成31年度の町制施行130周年記念にあわせて検討していきたい。
企業誘致については、町の現状を考えると大規模な会社や工場等の誘致は難しいと考えられるので、整備された光ファイバー網を利用したIT関係、ベンチャー関係等の会社の誘致を進めていきたい。

問 フィルムコミッションについて、ホームページでは住民の方向けにエキストラの募集をしているが、応募はあったのか。
また、撮影者向けに撮影場所一覧があり、写真が掲載されているが、非常に数が少ないと感じる。発信と比べれば格段に増えている

とは思うが、まだまだ足りてないのではないか。せっかく設立したフィルムコミッション、町にもお金が落ちる仕組みをどんどん作ってもらいたい。
PR動画については、130周年にあわせて検討するということが、他自治体と差別化を図ることが非常に大事だと思う。

答 エキストラの応募は今のところ無い。写真が少ないことは、私も感じていたところ。立ち上げたばかりという部分もあるが、内容の充実が必要不可欠だと思っているので盛り上げていきたい。
PR動画に関しては130周年記念だけでなく、YouTubeに町の動画をアップロードすることは町の発信として非常に有効なツールだと思っているため活用していきたい。

黒岩巧議員 一般質問②
町または西吾妻3カ町村等で進学支援を
答 どのような支援が可能なか検討したい

問 長野原町内、特に応募や北軽井沢地区の子どもたちが渋川市、前橋市、高崎市等と遠方の高校に進学する場合、寮がある学校なら安心だが、下宿屋がなく、アパート等で一人暮らしをするケースもある。中学校を卒業したばかりの子どもにも一人暮らしをさせるのは、両親にとって大変心配であり、リスクも高い。現状として北軽井沢の子どもたちが遠方の高校で部活に入ると朝1番、2番の電車に乗り、帰りは最終電車に乗るようになり、結局続けることができないケースも出ている。
そこで、町または西吾妻3カ町村等でアパートを借り上げて寮母さんを配置し、安心して子どもを遠方に進学させることができる環境づくりを町が担うというのはいかがでしょうか。

答 指摘のとおり、町外や渋川市方面といった遠方の高校へ進学・通学する際、不便や不安を感じている方がいることは承知している。
町としては、町単独または西吾妻3カ町村等で下宿場所を確保することは極めて難しいと考えているが、どのような支援が可能なか現状を調査した上で検討したい。

議会だより・議会会議録を

長野原町ホームページで公開中です！

定例会ごとに発行される「ながのはらまち議会だより」や議会の内容がわかる会議録を長野原町ホームページで公開しています。

議会だよりは第104号(平成27年6月発行分)から、会議録は平成27年5月臨時会分から掲載しています。

※会議録は完成次第更新になりますので、ご了承ください。



トップページ下段のアイコンからお進みください。

次回定例会のお知らせ

議会を傍聴しませんか？

議会の様子はどなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、議会開催日に直接議場(長野原町役場2階)までお越しください。難しい手続きはなく、料金や予約も不要です。受付簿に氏名など必須事項を

記入の上、傍聴してください。会議中の入退室も自由です。

【次回の定例会予定】

開会時間は日によって異なります。傍聴を希望される際は長野原町議会事務局までお問い合わせください。

- ・ 9月6日(火)
- ・ 9月15日(木)
- ・ 9月21日(水)

開催予定

▼詳しくは長野原町議会事務局(☎0279・82・3019)までお問い合わせください。

編集後記

首都圏の水瓶である群馬県内主要ダムの水不足が連日報道されており、現在取水制限がなされています。今後天候による影響が心配される所です。当町に建設される八ッ場ダムも本体のコンクリート打設が始まり、日に日に姿が見えてくることと思います。一日も早い完成を願っています。63年という長い歴史のダムですが、その間に数多くの人達がこれに関わってきました。私たちはその方々の想いを胸に秘めて完成までの日々を見守っていく義務があるのではないのでしょうか。町議会もそういった方々の気持ちを忘れずに活動していきたいと思えます。

広報委員

委員長 浅沼 克行
委員 牧山 明

委員 浅井 進
委員 富澤 重男

